



平成20年12月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年11月5日

上場会社名 **セーラー万年筆株式会社**

上場取引所 東証 二部

コード番号：7992

URL <http://www.sailor.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 碓井 初秋

問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長(氏名) 山崎 彰

TEL (03) 3846-2651

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年12月期 第3四半期の連結業績(平成20年1月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第3四半期	6,252	△4.7	△218	—	△253	—	△147	—
19年12月期第3四半期	6,561	△6.3	△96	—	△121	—	△146	—
19年12月期	9,095		△21		△70		△112	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年12月期第3四半期	△3 31	—
19年12月期第3四半期	△3 28	—
19年12月期	△2 51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年12月期第3四半期	9,233	2,687	28.8	59 69
19年12月期第3四半期	10,655	3,111	28.8	68 85
19年12月期	10,686	3,129	29.1	69 63

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年12月期第3四半期	193	73	△702	895
19年12月期第3四半期	△23	△115	△502	1,213
19年12月期	175	△5	△688	1,336

2. 平成20年12月期の連結業績予想(平成20年1月1日～平成20年12月31日) 【参考】

通期業績予想につきましては、平成20年8月12日発表時の予想値から変更はありません。

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	9,300 2.3	120 —	50 —	100 —	2 24

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在リスクや不確実性が含まれています。今後様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成20年1月1日から平成20年9月30日まで）におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発した世界的な金融市場の混乱や、為替の急激な変動に加え原油をはじめとする資材価格の変動も大きく、景気は停滞し先行きの不透明感が強まってまいりました。

このような状況のもと、当社グループは積極的な販売活動を展開したものの企業の設備投資の低迷や、個人消費の減速もあり当第3四半期の連結売上高は62億5千2百万円（対前年同期比4.7%減少）となり、原材料価格の高騰等の影響や法人税法の改正に伴う減価償却費の増加もあり、営業損失2億1千8百万円、経常損失2億5千3百万円、四半期純損失1億4千7百万円となり、前年同期を下回ることとなりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

ロボット機器部門につきましては、タイ、韓国、中国をはじめとする東南アジア向けの標準機及び新製品のミニナット・インサートシステム等の販売活動により受注は回復基調にあったものの、企業の設備投資の低迷に伴い受注が伸び悩む状態となり、売上高は16億8千2百万円（前年同期比16.8%減少）にとどまり、営業損失2億9百万円となりました。

文具部門につきましては、個人消費の減速や遊技場業界の低迷等による需要の減少はあったものの、万年筆ブームの再来による効果もあり、売上高は45億7千万円（前年同期比0.7%の増加）となりましたが、原材料価格の高騰や減価償却費の増加により営業損失は8百万円となりました。

なお、第4四半期におきましてはロボット機器部門は引き続き標準機及び新製品を中心とした売上の拡大を図ると共に、大幅なコスト削減策に取り組みます。文具部門は新製品、新ブランド商品の上市と共に工場の稼働率向上を行い、一層の原価低減を行います。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における財政状態の変動状況は以下のとおりであります。

① 資産の状況

資産合計は、前連結会計年度末に比べて14億5千3百万円減少し、92億3千3百万円となりました。このうち流動資産は現預金及び受取手形、売掛金が減少したことにより8億8千4百万円減少し51億8千6百万円となりました。また、固定資産は有形固定資産の減少等により5億6千9百万円減少の40億4千6百万円となりました。

② 負債の状況

流動負債は前連結会計年度末に比べて支払手形及び買掛金、短期借入金の減少により11億1千万円減少し39億9百万円となり、固定負債は長期借入金の増加等により9千9百万円増加し、26億3千6百万円となりました。

③ 純資産の状況

純資産は前連結会計年度末に比べて利益剰余金、有価証券評価差額金の減少により4億4千2百万円減少し、26億8千7百万円となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

営業活動により得た資金は1億9千3百万円となり、投資活動により得た資金は7千3百万円、財務活動に要した資金は7億2百万円となりました。その結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて4億4千1百万円減少し、8億9千5百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成20年8月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

影響額が僅少なものについて、一部簡便的な手続を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

従来、役員退職慰労金を支出時の費用として処理しておりましたが、第1四半期より、改正後の「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」を適用し、役員退職慰労金規程（内規）に基づく要支給額を役員退職慰労引当金として計上することに変更いたしました。

この変更に伴い、従来の方法と比べ、営業損失及び経常損失が6百万円増加し、税金等調整前四半期純損失が1億6千8百万円増加しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	前年第3四半期末 (平成19年9月30日)	当第3四半期末 (平成20年9月30日)	増 減		前連結会計年度末 (平成19年12月31日)
	金 額	金 額	金 額	増減率 %	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	1,263	900	△363		1,341
受取手形及び売掛金	2,403	2,146	△257		2,593
棚卸資産	2,172	2,023	△149		2,001
その他の	113	135	22		141
貸倒引当金	△7	△18	△11		△7
流動資産合計	5,947	5,186	△761	△12.8	6,070
II 固定資産					
有形固定資産	2,477	2,403	△74		2,427
無形固定資産	21	16	△5		21
投資その他の資産	2,529	1,954	△575		2,509
貸倒引当金	△320	△328	△8		△342
固定資産合計	4,708	4,046	△662	△14.1	4,615
資産合計	10,655	9,233	△1,422	△13.3	10,686
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	1,318	1,342	24		1,500
短期借入金	3,068	1,852	△1,216		2,883
一年以内返済長期借入金	—	333	333		300
一年以内償還社債	70	70	—		70
未払法人税等	14	21	7		29
賞与引当金	41	43	2		13
その他の	163	246	83		222
流動負債合計	4,676	3,909	△767	△16.4	5,019
II 固定負債					
社債	625	555	△70		625
長期借入金	400	466	66		100
退職給付引当金	1,067	873	△194		1,065
繰延税金負債	293	125	△168		299
役員退職慰労引当金	—	168	168		—
再評価に係る繰延税金負債	447	447	—		447
その他の	35	—	△35		—
固定負債合計	2,868	2,636	△232	△8.1	2,537
負債合計	7,544	6,545	△999	△13.2	7,556
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	5,381	5,381	—		5,381
資本剰余金	500	500	—		500
利益剰余金	△2,935	△3,129	△194		△2,981
自己株式	△16	△18	△2		△17
株主資本合計	2,929	2,734	△195	△6.7	2,882
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	533	243	△290		535
繰延ヘッジ損益	—	—	—		—
土地再評価差額金	△388	△309	79		△309
為替換算調整勘定	△1	△5	△4		△1
評価・換算差額等合計	143	△71	△214	—	225
III 少数株主持分	38	24	△14	△36.8	21
純資産合計	3,111	2,687	△424	△13.6	3,129
負債・純資産合計	10,655	9,233	△1,422	△13.3	10,686

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	前年第3四半期末 (自平成19年1月1日 至平成19年9月30日)	当第3四半期末 (自平成20年1月1日 至平成20年9月30日)	増 減		前連結会計年度 (自平成19年1月1日 至平成19年12月31日)
	金 額	金 額	金 額	増減率 %	金 額
I 売 上 高	6,561	6,252	△309	△4.7	9,095
II 売 上 原 価	4,741	4,471	△270	△5.7	6,486
売上総利益	1,819	1,781	△38	△2.1	2,608
III 販売費及び一般管理費	1,915	1,999	84	4.4	2,629
営業損失	96	218	△122	—	21
IV 営業外収益	90	59	△31	△34.4	93
V 営業外費用	116	94	△22	△19.0	143
経常損失	121	253	△132	—	70
VI 特別利益	12	290	278	—	80
VII 特別損失	2	165	163	—	91
税金等調整前四半期(当期) 純損失	111	128	△17	—	80
法人税、住民税及び事業税	14	16	2	14.3	27
法人税等調整額	—	—	—	—	—
少数株主損益	19	2	△17	—	3
四半期(当期)純損失	146	147	△1	—	112

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前年第3四半期 (自平成19年1月1日 至平成19年9月30日)

(単位：百万円未満切捨て)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年12月31日 残高	5,381	500	△2,815	△15	3,050
当第3四半期変動額					
四半期純利益			△146		△146
自己株式取得				△0	△0
土地再評価差額金の取崩			26		26
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)					
当第3四半期変動額合計	—	—	△120	△0	△121
平成19年9月30日 残高	5,381	500	△2,935	△16	2,929

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差 額 金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年12月31日 残高	723	△373	0	350	18	3,418
当第3四半期変動額						
四半期純利益						△146
自己株式取得						△0
土地再評価差額金の取崩						26
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)	△189	△15	△1	△206	19	△186
当第3四半期変動額合計	△189	△15	△1	△206	19	△307
平成19年9月30日 残高	533	△388	△1	143	38	3,111

当第3四半期 (自 平成20年1月1日 至 平成20年9月30日)

(単位: 百万円未満切捨て)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年12月31日 残高	5,381	500	△2,981	△17	2,882
当第3四半期変動額					
四半期純利益			△147		△147
自己株式取得				△0	△0
土地再評価差額金の取崩					
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)					
当第3四半期変動額合計	-	-	△147	△0	△148
平成20年9月30日 残高	5,381	500	△3,129	△18	2,734

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年12月31日 残高	535	△309	△1	225	21	3,129
当第3四半期変動額						
四半期純利益						△147
自己株式取得						△0
土地再評価差額金の取崩						
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)	△291	-	△4	△295	2	△293
当第3四半期変動額合計	△291		△4	△295	2	△441
平成20年9月30日 残高	243	△309	△5	△70	24	2,687

(参考) 前連結会計年度 (自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日)

(単位: 百万円未満切捨て)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年12月31日 残高	5,381	500	△2,815	△15	3,050
当連結会計年度変動額					
当期純利益			△112		△112
自己株式取得				△1	△1
土地再評価差額金の取崩			△53		△53
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当連結会計年度変動額合計	-	-	△166	△1	△167
平成19年12月31日 残高	5,381	500	△2,981	△17	2,882

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年12月31日 残高	723	△373	0	350	18	3,418
当連結会計年度変動額						
当期純利益						△112
自己株式取得						△1
土地再評価差額金の取崩						△53
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△187	64	△1	△124	3	△121
当連結会計年度変動額合計	△187	64	△1	△124	3	△288
平成19年12月31日 残高	535	△309	△1	225	21	3,129

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円未満切捨て)

科 目	前年第3四半期末	当第3四半期末	前連結会計年度
	(自平成19年1月1日 至平成19年9月30日)	(自平成20年1月1日 至平成20年9月30日)	(自平成19年1月1日 至平成19年12月31日)
区 分	金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益 又は税金等調整前四半期(当期)純損失	△111	△128	△80
減 価 償 却 費	107	147	153
固定資産売却・除却損	—	3	13
固定資産売却益	0	△0	△7
貸倒引当金の増減額	△4	△3	18
役員退職慰労引当金の増加額	—	168	—
退職給付引当金の増減額	30	△191	28
受取利息及び受取配当金	△21	△18	△29
支 払 利 息	81	67	105
持分法による投資損益	△32	△17	△26
為 替 差 損 益	2	△1	1
投資有価証券売却益	△5	△53	△37
売上債権の増減額	659	443	476
棚卸資産の増減額	2	△30	173
仕入債務の増減額	△588	△146	△407
その他の	19	34	△30
小 計	138	274	351
利息及び配当金の受取額	21	18	29
利息の支払額	△76	△77	△103
法人税等の支払額	△35	△21	△31
和解金の支払額	△71	—	△71
営業活動によるキャッシュ・フロー	△23	193	175
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金等の預入による支出	△5	△5	△5
定期預金の払戻しによる収入	5	5	50
有形固定資産の取得による支出	△131	△88	△135
有形固定資産の売却による収入	30	0	52
無形固定資産の取得による支出	△4	△2	△5
投資有価証券の取得による支出	—	△2	—
投資有価証券の売却による収入	39	177	91
貸付による支出	△2	△1	△3
貸付金の回収による収入	51	1	51
その他の	△99	△11	△101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115	73	△5
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純減少額	△402	△1,031	△587
長期借入金の返済による支出	△30	—	△30
長期借入金の収入	—	400	—
社債の償還による支出	△70	△70	△70
その他の	△0	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△502	△702	△688
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△5	△1
V. 現金及び現金同等物の増減額	△643	△441	△520
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	1,857	1,336	1,857
IX. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,213	895	1,336

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年第3四半期 (自平成19年1月1日 至平成19年9月30日)

(単位: 百万円未満切捨て)

	ロボット機器	文具	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,022	4,539	6,561	—	6,561
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,022	4,539	6,561	—	6,561
営業費用	2,026	4,631	6,657	—	6,657
営業損失	4	92	96	—	96

当第3四半期 (自平成20年1月1日 至平成20年9月30日)

(単位: 百万円未満切捨て)

	ロボット機器	文具	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,682	4,570	6,252	—	6,252
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,682	4,570	6,252	—	6,252
営業費用	1,891	4,579	6,470	—	6,470
営業損失	209	8	218	—	218

前連結会計年度 (平成19年1月1日～平成19年12月31日)

(単位: 百万円未満切捨て)

	ロボット機器	文具	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,670	6,424	9,095	—	9,095
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,670	6,424	9,095	—	9,095
営業費用	2,720	6,395	9,116	—	9,116
営業利益又は 営業損失(△)	△50	29	△21	—	△21